

## 第9回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

### 1 開催概要

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書類による審議を実施。令和4年10月4日(火)までに審議資料を配布、令和4年10月21日(金)までに番組に対する意見等について返信を求めた結果、審議委員全5名から電子メールまたはFAXにて回答があった。

#### ■出席委員(敬称略)

増山 明 (真岡商工会議所 専務理事)  
一ノ瀬 幸人 (真岡市総合政策部秘書広報課 課長補佐兼係長)  
篠崎 勝美 (株式会社シノザキ楽器 代表取締役)  
宇賀神 久子 (株式会社アキヤマ観光 チーフカスタマーサービス)  
上澤 宏行 (真岡青年会議所 元理事長)

### 2 議題

放送番組の審議

### 3 審議内容

- ① 審議番組『イブニング!もおか 「もおかDEもおかりまっか!」』  
～MOTO MEC (アメリカン・バイク専門店)～  
放送時間: 令和4年9月26日(金) 16:00～16:45  
パーソナリティ: 直井 大輔 (なおい だいすけ)

(委員) 好感が持てたポイントとして、パーソナリティがバイク好きな事もあって、趣味を生かしたジャンルに行くのはいいと思います。リスナーが偏る可能性はあるものの、聞いていて好きな人は、楽しい時間なのではないでしょうか。又、地元情報の繋ぎ役に「FMもおか」がなって頂ければ、地元情報を分かっている人が増え、コミュニティFMの存在価値が目に見えて伝わってきますね。

あと、聞いていて色々な情報が聴きたいと思ったことは、今までバイクに乗っていて大変だったトラブル事例や対処法、こんな所にツーリングに行ったら良かった思い出・景色、バイクに乗っているとこんな楽しい事があるんだよ、などを盛り込んでも、バイク好き以外が楽しめるかも知れませんね。店長さんも気さくで良い方ですね。

改善すべきポイントとして、少し出だしが落ち着きすぎのよう感じました。とても聞きやすいのですが、聞いている方の楽しい気持ちよりも、ただ聞き流している感じで印象に残りにくい感がありました。インタビュー前半は少しギクシャクした感じで、キャッチボールの返答の返しに違和感がありました。後半は乗ってきたのが良かったです。あと、BGMが流れていてもいいのかもしれない。

その他として、パーソナリティの入れ替わりもあり。大変なこともあると思いますが喜んで聞いているリスナーも沢山いると思いますので頑張って頂ければと思います。

(事務局) ご指摘のとおり、地元の経営者やお店の紹介をする、初めての試みでパーソナリティもぎこちないところがあったことは否めません。やはり何度も試行錯誤して、経験を積んで、上手におさまりがよくなっていくと思います。BGMなどの入れ方、番組構成、編集のスキルアップをしていきたいです。

(委員) 好感が持てたポイントとして、努めてゆっくり話している印象で聞きやすかったです。車検の話から引き取りサービスへの会話は、さりげなくお店のPRにもなって良かったと思います。お二人とも専門的な用語を避け、分かりやすく進行してくれたようで内容がわかりやすかったです。地元・真岡の話も織り交ぜて親近感が持てました。

改善すべきポイントは、竹前さんの声に比べてパーソナリティの直井さんの声が小さく感じました。録音マイクの使い方でしょうか？あるいは、直井さんの声はやわらかいのでストレスなく聴ける反面、場面によっては相手より、こもって聞こえたのかもしれない。スタジオ以外で録音する難しさはあると思いますが改善できればと思います。

その他としては、他のゲスト番組でも同様ですが、CM明けの説明をもう少し味付けしてもらえると、最初に聞き逃した場合や途中から聞いた場合でも話に聞き入りやすい。例えば、「今回は●●にある●●という●●●●店で●●●をされている●●さん」くらいの情報があってもよいと思いました。また、地元リスナーであれば、お店の情報は気になる場所なので、知らない人のために。今回であれば「モトメックの文字はアルファベットの大文字でMOTO MEC、ネットでお調べのときは『モトメック』とカタカナでも検索できます」といった店舗情報もどこかにさりげなく挟んでみることを提案したいと思います。

別件で、平日正午から始まる「いつでも どこでも モオカの874」についてですが、議会中継の日には音楽が流れているだけです。中継の都合ということで冒頭には説明がありますが、その後、ひたすら音楽のみでラジオを付けた人は戸惑うのではないのでしょうか。可能な範囲で番組を放送するか、無理な場合は「CM」「説明」「音楽」のリピートで構成するなど工夫があっても良いと思いました。

(事務局) ご指摘のとおり、今回のインタビュー収録は、直井さん一人で行っておりますので、まだまだ、使い方に難点があると思います。この点は、マイクや話し方を含めて、場数を踏むことで改善されていくと思いますし、機材の使い方の指導もしていきます。取材番組の作り込みにしてみても、初歩的な段階で、まずはトライしている感じですが、良くなかった点を指摘し、ドンドン改善していきたいと思います。また、議会中継時の対応についても、改善できる場所は、次回の議会中継で実施できればと思います。

(委員) モトメック竹前様は、とても聞きやすくわかりやすい説明で、バイクに興味を持ちましたし、映像が想像できる内容でした。お店に行ってみようと思っています。また、パーソナリティの直井大輔様も落ち着いた語り口で「ジェットストリーム」の次回に推薦したいくらいです。とても楽しくあっという間に聴けました。ますますFMもお楽しみです。

(事務局) ありがとうございます、今後も聞きやすく、ためになる地元・真岡の情報を、お伝えできればと思っています。直井さんもまだパーソナリティに加わって日が浅いにもかかわらず、前向きに提案もしていただいておりますので、良い番組を創っていききたいと思います。

(委員) 45分の番組の大半を事前収録で放送するなら、放送時間にパーソナリティが生出演する意義は薄いように思いました。収録のスケジュールが分からないが、①ゲストを訪問・

録音、②後日スタジオでパーソナリティが前後のトーク部分を収録、③放送時は、流すだけの方がいいのではと思います。また、「下籠谷にある」だけでなく「国道408号沿いの」のような具体的にイメージしやすい説明があるといいですね。下籠谷と言っても分からない方が、真岡市内在住の方でもいます。特に旧二宮町の方はそうではないでしょうか。パーソナリティが事前に下調べをしているのが分かるので、トークの流れがスムーズに感じました。それと録音放送でも流す曲は、ゲストに選曲してもらった方がいいかと思います。番組の最後にゲストに自由に使う時間を与えてほしいです。(市民やリスナーへのメッセージ、宣伝、お知らせなど)ゲストに次回のゲストを紹介してもらう数珠つなぎのような形式は、地域コミュニティのつながりを感じられるので良いなと思いました。ゲストの視点から次回のゲストについて、どんな人物か簡単に紹介してもらえると、なおいいですね。(あるいは前回のゲストからのメッセージを紹介するなど)

(事務局) 今回は初めての試みで、ご指摘のとおり、収録番組にすることも可能ですが、なかなか、いわゆる完パケ(45分番組を編集して完成させること)は、パーソナリティ初心者には難しいので、今回はできるところまでやってみたという流れです。今後、編集なども出来るようになれば、クオリティの向上につながると感じています。ただ、なかなかパーソナリティの方も働いている中で、どこまで作り込みをするかというのは、時間との兼ね合いもありますので、現場サイドで調整したいと思います。言葉の使い方や表現の仕方も、番組に継続して出演していただければ、スキルとして習得できると思いますし、我々も気が付いた点は、都度都度改善していきたいと思います。

(委員) スタジオを出て、お店紹介をしていることはすごくいいと思います。まだまだプロっぽいとは言えませんが、それでもここまで作り込んだことに敬意を表します。徐々に収録や編集なども覚えてくれば、技術は習得できると思いました。まずは、何事もやってみる、そして、改善するという流れで頑張ってもらえればと思います。全体的には地域の人を出す、地域で活動している人を出すというコミュニティFMらしい構成と流れで、楽しく聴かせて頂きました。今後のさらなる成長を期待しております。

(事務局) ご指摘のとおり、パーソナリティは仕事を持っている人が大半なので、機材の問題もあり、すぐに技術の習得は難しいと思いますが、やる気のある人の意欲を尊重して、真岡市に関する市民に有益な情報を提供していきたいと思います。

## ② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、令和5年1月10日(火)、14:00～

場所は、エフエム真岡会議室か市役所の会議室をお借りして開催予定。

(委員) 審議委員全員に書面にて連絡済。

## 4 審議機関の答申又は意見の概要の公表

① 自社ホームページに掲載 (<https://www.fm-moka874.co.jp/>)